

学 第 1 4 9 号
平成29年4月24日

各私立学校（園）長 様
各専修・各種学校長 様

千葉県総務部学事課長
(公印省略)

弾道ミサイル落下時の行動等について（通知）

このことについて、平成29年4月21日付け危第101号で、千葉県防災危機管理部長から別添写しのとおり通知がありました。

つきましては、貴校（園）職員に周知するとともに、児童生徒・保護者等への対応にご活用ください。

なお、本件内容に関しては、近日中に危機管理の担当部局により、千葉県ホームページにも掲載されることとなっています。

担 当
千葉県総務部学事課
私学振興班 横田
T E L 043-223-2155



危 第 1 0 1 号
平成 2 9 年 4 月 2 1 日

各 部 局 (庁) 長 様

防 災 危 機 管 理 部 長

弾道ミサイル落下時の行動等について (通知)

このことについて、消防庁から別添のとおり平成 2 9 年 4 月 2 1 日付け消防国第 3 8 号及び消防運第 2 4 号で弾道ミサイル落下時の行動等について通知がありました。

つきましては、別添資料の内容について各所属及び関係機関に周知するとともに、危機管理体制の再確認・徹底を行うなど、必要な措置を講じていただきますようお願いいたします。



連絡先
千葉県防災危機管理部
危機管理課危機管理室
〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1
TEL 043-223-2168 FAX 043-222-1127
E-mail bousai8@mz.pref.chiba.lg.jp

消防国第38号
消防運第24号
平成29年4月21日

各都道府県防災・国民保護担当部局長 殿

消防庁国民保護・防災部防災課
国民保護室長
国民保護運用室長
(公印省略)

弾道ミサイル落下時の行動等について

内閣官房から、別添1「弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動について」のとおり通知があり、別添2「弾道ミサイル落下時の行動について」及び別添3「弾道ミサイル落下時の行動に関するQ&A」が、内閣官房の「国民保護ポータルサイト」に掲載されましたので、お知らせします。

つきましては、別添2及び別添3の内容について、住民から問い合わせが寄せられた場合の対応にご活用いただくとともに、住民の理解が進むよう、各地方公共団体のホームページや広報紙に掲載していただく等、幅広い広報の実施へのご協力をお願いします。

貴都道府県内の市町村及び消防本部に対し、この旨の周知及び同様の対応についてご協力をいただくようよろしく申し上げます。

閣副事態第166号
平成29年4月21日

消防庁国民保護運用室長 殿

内閣官房副長官補 (事態対処・危機管理担当) 付
内閣参事官 小谷 敦
(公印省略)

弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動について

北朝鮮により弾道ミサイルが発射された場合で、日本に飛来する可能性があるときは、政府としては、関係する地域の住民に対して全国瞬時警報システム（Jアラート）を使用して情報伝達することとしており、当該情報伝達の流れや注意点等について、国民保護ポータルサイトに掲載しているところです。また国民保護ポータルサイトには武力攻撃やテロなどから身を守るためにどのように行動するべきか等についても掲載しているところです。

この度、昨今の情勢を踏まえ、問い合わせが多く寄せられている、弾道ミサイルが落下する可能性がある場合に国民がとるべき行動についてとりまとめ、本日、国民保護ポータルサイトに掲載しましたのでお知らせいたします。

つきましては、本件について、地方公共団体を通じて住民の理解が進むよう、地方公共団体に対して御周知をお願いします。

- 弾道ミサイルは、**発射から極めて短時間で着弾**します。
- ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、**Jアラートを活用して**、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により**緊急情報をお知らせ**します。

メッセージが流れたら、直ちに以下の行動をとってください。

【屋外にいる場合】

- 近くのできるだけ頑丈な建物や地下街などに避難する。



- 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。

【屋内にいる場合】

- できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

～ 行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください ～

弾道ミサイル落下時の行動に関するQ & A

問1 ミサイルは発射から何分位で日本に飛んでくるのでしょうか。

(答)

北朝鮮から弾道ミサイルが発射され、日本に飛来する場合、極めて短時間で日本に飛来することが予想されます。

例えば、平成28年2月7日に北朝鮮西岸の東倉里（トンチャンリ）付近から発射された弾道ミサイルは、約10分後に、発射場所から約1,600km離れた沖縄県先島諸島上空を通過しています。

なお、弾道ミサイルの種類や発射の方法、発射場所などにより日本へ飛来するまでの時間は異なります。

問2 なぜ頑丈な建物や地下街などへ避難するのですか。

(答)

ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるためには屋内（できれば頑丈な建物）や地下街など（地下街や地下駅舎などの地下施設）への避難が有効だからです。

問3 自宅（木造住宅）にいる場合はどうしたらよいのでしょうか。

(答)

すぐに避難できるところに頑丈な建物や地下街などがあれば直ちにそちらに避難してください。それができない場合は、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

問4 建物内に避難してから気を付けることはありますか。

(答)

爆風で壊れた窓ガラスなどで被害を受けないよう、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

問5 弾道ミサイルの情報が伝達されたとき、自動車の車内にいる場合はどうすればよいですか。

(答)

車は燃料のガソリンなどに引火するおそれがあります。

車を止めて頑丈な建物や地下街などに避難してください。周囲に避難できる頑丈な建物や地下街などが無い場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守ってください。

問6 車から出ると危険な場合はどうしたらよいですか。

(答)

高速道路を通行している時など、車から出ると危険な場合には、車を安全な場所に止め、車内で姿勢を低くして、行政からの指示があるまで待機してください。

問7 ミサイルが着弾した後は何をすればいいですか。

(答)

弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なります。

そのため、テレビ、ラジオ、インターネットなどを通じて情報収集に努めてください。また、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動してください。

問8 近くにミサイルが着弾した時はどうすればいいですか。

(答)

弾頭の種類に応じて被害の及ぶ範囲などが異なりますが、次のように行動してください。

- ・ 屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難してください。
- ・ 屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉してください。